

国際学専攻【 外国人留学生特別選抜 】

専門科目 日本語教育学・日本語学・日本文化学 （ 2枚のうち 1枚目）

I. 用語選択問題

次のAの10問，Bの5問計15問の用語から，5問を選択して答えなさい。ただし，5問のうち少なくとも3問は，「日本語教育学」か「日本語学」を専門としたい人は「A：日本語教育学・日本語学」から，「日本文化学」を専門としたい人は「B：日本文化学」から選択しなさい。また，必ず5問選択し，6問以上選択してはいけません。

A：日本語教育学・日本語学

- (1) ニーズ調査とレディネス調査
- (2) 代入練習
- (3) 外国につながる子どもに対する日本語教育
- (4) 学習者コーパス
- (5) 意味交渉 (negotiation of meaning)
- (6) 言語変化と同音衝突
- (7) 母音の無声化
- (8) 標準語・共通語と公用語
- (9) 短縮語
- (10) 中立叙述の「が」と総記の「が」

B：日本文化学

- (11) 会社と日本人
- (12) 第2の開国
- (13) 御伽草子
- (14) 『文学に現れたる我が国民思想の研究』
- (15) 『1940年体制』

専門科目 日本語教育学・日本語学・日本文化学 （ 2枚のうち 2枚目）

II. 論述問題

以下の問題については、大学院で専門としたい分野に応じて、「日本語教育学」か「日本語学」を専門としたい人は「A：日本語教育学・日本語学」の4問から2問を選択し、「日本文化学」を専門としたい人は「B：日本文化学」に答えなさい。

なお、解答にあたっては、それぞれの問題に1枚の解答用紙を用いること。但し、「日本文化学」は2枚用いて構わない。

A：日本語教育学・日本語学

1. 日本語の教科書は、従来、構造シラバスや場面シラバスなどによってきたものが多かったが、最近では従来のシラバスとは異なる考え方で作成された教科書が用いられるようになってきた。どのような考え方で作られた教科書が出てきたか、またなぜそのようなことが起こっているのかについて、具体例を入れながら述べなさい。
2. 第二言語学習者が、その言語の形式 (form) と言語の機能 (function) をどのようにして習得していると考えられるか、日本語学習者の場合の具体例を挙げて説明しなさい。
3. 話し手に根ざした日本語のバリエーションを考える場合、社会言語学では、「地域方言」と「社会方言」に分けて説明することがある。その場合の「社会方言」に含まれる日本語のバリエーションにどのようなものがあるかを説明し、その中の代表的なものについて、それをめぐる日本語の最近の変化について論じなさい。
4. 対照言語学 (contrastive linguistics) とはどのような研究分野かを説明した上で、対照言語学的研究の利点と難点について、1つの言語だけを分析対象とする言語研究と比べながら論じなさい。

B：日本文化学

5. 戦国時代に於ける仏教とキリスト教との思想論争を思想史の立場から論じなさい。